

令和 7 年度 社会福祉法人葵会事業報告

福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

「今日の幸せ」とは、様々な家庭の事情により施設に入所した子ども達に対するインケアであり、職員と子どもが共に生活する中で、安心・安全で快適な生活を保障し、受容・共感し傷ついた心を癒しながら、基本的生活習慣や学習習慣等を身につけることである。

「明日の幸せ」とは、家庭復帰または進学・就職して施設を退所していく子ども達が、社会人として自立した生活を送るためのリービングケアであり、将来のために様々な体験をさせることにより、社会性・協調性等を育て、社会への適応力を高めることである。

国は、平成 28 年「児童福祉法等の一部改正する法律」を施行し、「家庭養育優先の原則（実家庭）」や「家庭と同様の環境による養育（里親・ファミリーホーム）」・「良好な家庭的環境での養育（地域小規模児童養護施設等）」の推進し、子どもたちの養育環境に対して優先順位を明確化した。

翌年の「新しい社会的養育ビジョン」において里親や養子縁組の優先・拡充を示し、児童養護施設等には施設の小規模化かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換に取り組むように求めた。また、要保護児童等の代替養育を施設（集団）養育から家庭的養育へと移行し、地域で生活する児童の予防的な支援を市町村の実情に応じ施設がその役割を担う方針を示した。

令和 2 年、この流れを汲んだ都道府県社会的養育推進計画が示され、葵会 2 施設は、10 か年の中長期計画を浜松市に提出し、地域小規模児童養護施設の設置（地域分散化）や一時保護グループケア開設（多機能化・機能転換）、専門職を配置しての里親支援の強化（高機能化）そして、子育て短期支援事業（地域支援）等を実施してきた。

令和 6 年度以降、この都道府県社会的養育推進計画の中間評価・後期推進計画の策定にあたり、清明寮・すみれ寮ともに 11 年度までの 5 か年の計画として養育単位の小規模化として本体施設を 6 名以下のユニットケアによる養育への変更、地域分散化としての地域小規模児童養護施設の増設、そして、施設で培ってきた養育や心理の専門性を生かし、地域支援、在宅支援を検討してきた。

令和 7 年度は、すみれ寮の本体機能を天竜区春野町から浜名区浜北への移転準備を進め、用地取得、基本設計を進めてきた。清明寮に関しても計画にある地域小規模児童養護施設の開設、本体ユニット化の大規模修繕における検討をしてきている。

福祉理念である「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」のより一層の具現化に向けて、2 つの児童養護施設の入所児童はもとより、社会的養護の対象となる児者に提供する養育サービスの質の向上に努めると共に、今後必要な職員数の確保を図ることにより職員の労働負担の軽減に努め、策定した事業計画に掲げる地域児童福祉の支援を進め、本法人の未来とここに働く職員の将来のために、公共的・公益的かつ信頼性の高い法人経営を遂行した。

1 社会福祉法人葵会事業実施状況

社会福祉法人葵会は、基本福祉理念「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」に基づいた施設運営、「社会福祉法人行動指針」に基づいた以下の法人事業を実践し信頼性の高い経営の実現に努めた。

(1)「養育サービスの質の向上」

入所している子ども達にクオリティの高い支援を提供するために、清明寮・すみれ寮は、福祉サービス第三者評価の施設自己評価を実施し、養育サービスの質の向上に努めた。また、感染症予防及び事故防止の対策の充実を図り、安心・安全な環境の提供のためのリスクマネジメントを実施した。

(2)「人権の尊重」

職員に倫理綱領・行動規範を遵守させ、入所している子ども達の権利擁護に努めるとともに、子ども達の自己決定と選択を尊重する支援をした。

子ども・家族からの苦情・要望に対して誠意を持って適切に対応し、施設で発生した重大な事故等に対して外部の公正な判断を得て、解決策および再発防止策を推進するための第三者委員会を開催した。

(3)「地域との共生」

地域に開かれた施設から地域と共生する施設へと変革し子ども達が地域イベント参加すると共に、地域の皆様の施設イベントへの招待、地域ボランティアの受入等を行うとともに地域や在宅児童への支援を実施した。

(4)「社会的ルールの遵守（コンプライアンス）の徹底」

関係法令等の社会的ルールを遵守した経営に努めるため、関係法令等の制定や改正に対応して、内部規程の整備を実施すると共に、職員への周知を徹底した。

(5)「説明責任（アカウンタビリティ）の徹底」

提供する養育サービスに関する情報を利用者に適切に説明した。また、広報紙の定期的発行・HPの更新等で、法人の業務及び財務等に関して積極的な情報開示に努めた。

(6)「職員の積極的雇用および育成の充実、働きがいのある職場の実現」

職員の働く環境や処遇改善に努めると共に専門性や資質の向上を図るため、研修計画を基に内部研修会の開催・リモートを含めた外部研修会への参加・自己研鑽事業への助成等に取り組みを実施した。また、職員相互の円滑なコミュニケーションのもと、チームアプローチができる体制を整えた。

(7)「地域支援における取組みの推進」

親子支援事業として子育てサロンすずらんの定期的な開催及び子育て短期支援事業・保育ママ事業の浜松市から受託、また、里親支援専門相談員の配置等により地域の子育て支援に努めた。

(8)「組織統治（ガバナンス）の確立」

法人機能の確立と理事会・評議員会において事業方針・計画を明確にし、監事監査の実施、税理士のチェックによる財務の透明性の確保に努めた。

(9)「財務基盤の安定化」

長期的な使用計画に則り施設整備等積立金を積立て、中長期計画における施設の改築、大規模修繕等に備えた。また、積立金を確保するためコストマネジメントを実施し、職員全体のコスト意識の醸成に努めた。

(10)「経営者の役割の遂行」

役員・施設長は、リーダーシップを発揮し、良質かつ安全安心な養育サービスの提供に向けて、当法人の福祉理念・事業方針を実践した。

2 社会福祉法人葵会主要事業

1. 経営事業

第一種社会福祉事業

- (1) 児童養護施設「清明寮」(定員 44 名)
- (2) 児童養護施設「すみれ寮」(定員 20 名)
- (3) すみれ寮 地域小規模児童養護施設「パル」(定員 6 名)
- (4) 清明寮地域 小規模児童養護施設「あしたば」「ふたば」(各定員 6 名)
- (5) 清明寮一時保護グループケア事業「やまもも」(定員 6 名)

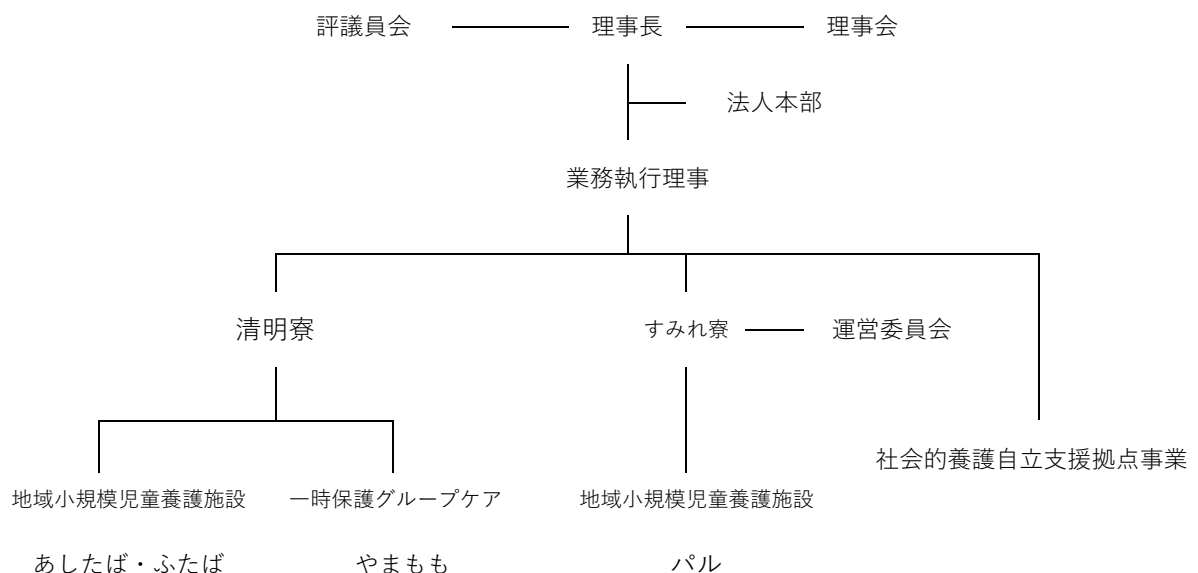
第二種社会福祉事業

- (1) 子育て短期支援事業
- (2) 児童自立生活援助事業
- (3) 社会的養護自立支援拠点事業

2. 本部運営

- (1) 理事会、評議員会、評議員選任解任委員会の開催 (5 月・6 月・3 月)
- (2) 第三者委員会の開催 (7 月・11 月・3 月)
- (3) 監事監査の実施 (5 月)
- (4) 葵会運営会議の開催 (毎月)

3 葵会組織図



4 事業報告の附属明細書

法人、施設の事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和 7 年度 清明寮事業報告

「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

清明寮は、児童福祉法 41 条に規定されている保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所したものに対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的としている。

近年、子どもを取り巻く状況は常に変化し続け、深刻化している。社会的養護を必要とする子どもの虐待はさらに重篤化し、発達に課題のある児童の増加から養育の専門性の向上が必須となっている。

清明寮はこれまでの国の求める児童養護施設における変革の流れに沿い小規模化・地域分散化として 2 箇所の地域小規模児童養護施設の設置、本体機能の多機能化、機能転換として一時保護専用施設の開設、また、地域支援として浜松市子育て短期支援事業の受託を積極的に行ってきた。

令和 6 年度には、浜松市の都道府県社会的養育推進計画の見直しに当たり、以降 5 か年の施設計画策定を進め、ケアニーズの高い児童の養育のための環境整備として本体施設のユニット化や地域小規模児童養護施設の増設、地域支援としての親子支援事業や児童育成拠点事業、自立支援・退所者支援として児童自立生活援助事業、社会的養護自立支援拠点事業の計画を盛り込んだ。

令和 7 年度は、令和 9 年度計画の地域小規模児童養護施設開設、令和 10 年、11 年の本体ユニット化の大規模修繕の検討を進めた。

清明寮は、本体、地域小規模児童養護施設 2 か所、一時保護専用施設それぞれの特徴ある養育を活かしつつ、施設全体で「一人の子ども」を支援するチームアプローチを意識し、法人の基本理念である「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」の実現に向けた施設運営を推進した。

I 施設の概要

定員 56 名

- ・ 本体施設（2F：かえで・くるみ）（3F：しらかば・ぽぷら） 定員 44 名
- ・ 地域小規模児童養護施設（あしたば） 定員 6 名
- ・ 地域小規模児童養護施設（ふたば） 定員 6 名
- ・ 一時保護専用施設（やまもも） 定員 6 名 *施設定員外
- ・ 子育て短期支援事業
- ・ 児童自立生活援助事業
- ・ 社会的養護自立支援拠点事業
- ・ 親子支援事業

Ⅱ 令和7年度の主な事業目標

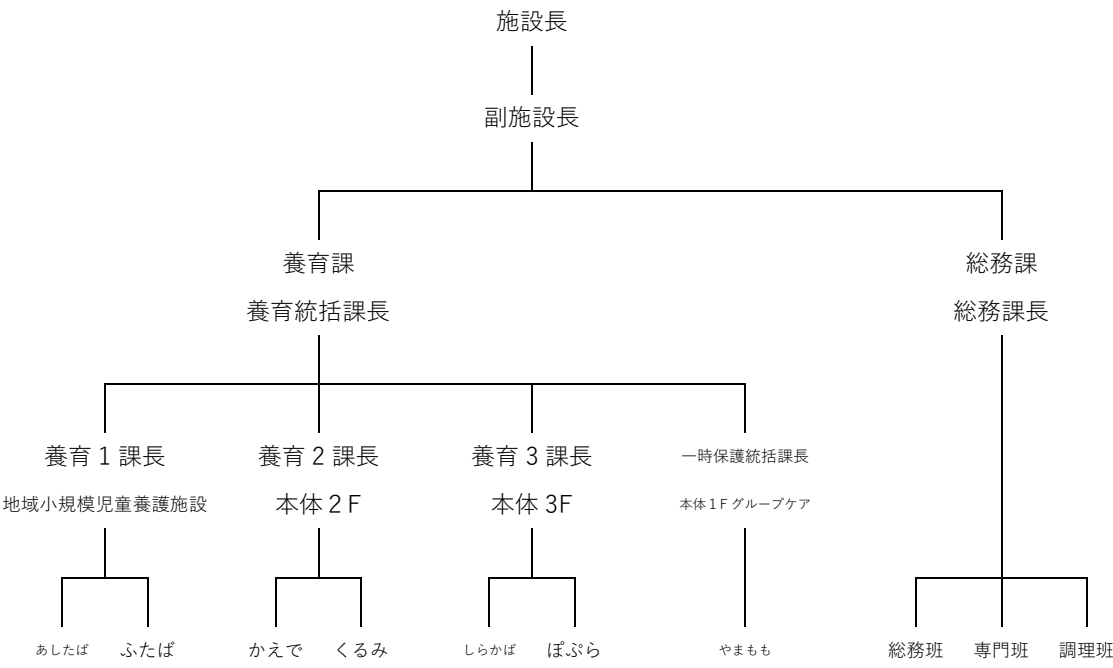
- (1) 子ども一人ひとりの発達段階・課題とニーズを把握し、家庭的養育と児童指導員、心理職、家庭支援専門相談員里親支援専門相談員等の専門的なケア合わせた養育を実施した。
- (2) 施設整備中長期計画に沿い、本体施設の養育機能の小規模化としての大規模修繕の検討を進めた。
- (3) 2つの地域小規模児童養護施設の運営について、相互に連携し充実を図るとともに3つ目の地域小規模児童養護施設開設計画の検討を進めた。
- (4) 一時保護専用施設やまももについて、児童相談所と連携し、多様化する一時保護児童へのきめ細かなグループケアに努め、併せて急増する子育て短期支援事業（ショートステイ）の受け入れを実施した。
- (5) 浜松市から受託する児童養護施設等の退所者等支援の社会的養育自立支援拠点支援事業を開始し、社会的養護経験者への支援を実施した。
- (6) 親子支援事業として子育てサロン「すずらん」を拡充し、地域支援を進めた。

Ⅲ 養育方針

清明寮職員は全員で子ども一人ひとりを受け止め育むために細やかな目配りと深い愛情を注ぎ、社会的養護を担う福祉職としてのプロ意識を持って専門性の向上に努め、以下に掲げた養育方針（目標）を達成するために精励努力した。

- 1 子どもが自身の権利を主体的に追求できるよう、子どもの権利を擁護し、意見表明権を尊重し、子どもの意見に向き合い、意見を表明できるようにきめ細かな配慮を行った。
- 2 子どもに寄り添い家庭的な養育支援を推し進め、安心してあたりまえの生活が送られるように努めた。
- 3 子ども一人ひとりとの個の関わりを大切にし、心の痛みへの受容共感を通して、情緒の安定や大人への信頼関係を育む関りをチームとして実践した。
- 4 食を通じて豊かな人間性を育て、健康的な生活を送られるよう食育を実践した。
- 5 グループでの活動から、協調性や思いやりの心、継続して取り組む力を育てる取り組みを実践した。
- 6 安全な生活を保障するため、健康管理に注意し、事故や災害の防止に努めた。
- 7 地域行事への参加、地域小規模児童養護施設の生活を通し、地域社会の中での育みを大切にした。
- 8 一人ひとりの発達段階やニーズに応じて学習をサポートし、学習意欲を育て、学力向上を図った。
- 9 保護者の皆様の状況を正確に把握し、子どもの意向を尊重する中で、関係機関と協力して早期家庭復帰及び里親委託に向けて支援をした。
- 10 施設退所後の生活に向けて、多くの体験を通して社会性を育み、自立を支援し、併せて退所後の相談に応じた。

IV 養育体制



V 子ども一人ひとりのための年間事業計画

1 子ども主体の自立支援計画の作成と見直し及びアセスメントシートの作成

子ども一人ひとりが自身の自立支援計画票の作成に携わる機会を持ち、定期的な児童相談所との連絡会の場で見直しを図ったが、子どもたちの意見確認はさらなる充実は求められる。

子ども一人ひとりの心身や生活の状況を把握するためのアセスメントシートの作成、個々の課題を明示した。

2 子ども達の健やかな養育のための年間行事

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるため年間を通して多様な施設行事を実施し、また地域や関係機関団体等の行事への希望児童の参加、企業や各種団体からの施設訪問・招待を受け入れて社会経験を充実させた。

※別紙「子どもの年間行事計画」参照

3 養育の質の向上と自立支援

自立に向けた多様なニーズを担えるよう、子どもたちの生活の在り方について考え、養育の質の向上と自立を支援するため以下の事業を実施した。

心理療法担当職員の複数配置による心理的ケアの強化
リビングケア（メディアリテラシー・インターネットモラル講座）
セカンドステップ（暴力防止プログラム）
だいだいの会（性教育）
ライフストーリーワーク（生き立ちの整理、告知）
子ども会議（子どもの希望確認）
公文式プリント学習による学力・学習意欲の向上、能力に合わせた学習塾の選択
栄養士等による食育に関する取り組み（思考調査）
大学教授（心理士）・児童家庭支援センター相談員のスーパーバイズによる報告検討会
児童精神科心理士による心理療法的アドバイス
施設自己評価結果の養育に係わる低評価項目の検討

4 子ども達が安心して生活するための権利擁護

子どもが主体的に権利を追求できるよう、子ども一人ひとりの権利を尊重し、安心して生活できる環境を提供するため、子ども意見表明支援事業の受入れや懲戒に係る権限の濫用禁止及び被措置児童等虐待防止に向けて以下の事業を実施した。

養育環境向上委員会、第三者委員会、子どもおもしろ委員会、苦情受付箱の設置
被措置児童等虐待防止の内部研修会、権利擁護研修、性教育研修

5 家庭的な養育支援の推進

施設内での養育単位の小規模化、養育支援の個別化を図り、子どもの意思を尊重する中で家庭的な養育支援を推進した。

中学生以上の子どもに個室の提供
個別外出の小グループ化
担当職員との個別外出
誕生日外食
食事グループやレクリエーション活動の小規模化
施設行事・招待行事等の参加希望意思の尊重

6 児童相談所との連携

措置機関である児童相談所と、子ども一人ひとりの家庭状況、発達課題等の情報を共有し、連携した支援を実施した。

児童相談所の児童福祉司・児童心理司・医師（児童精神科）による発達課題や心理状態に応じた定期的な面接の実施、児童相談所との連携による早期家庭復帰（家族再統合）の推進
家庭交流が少ない児童のショートワゴン（週末）里親の利用による家庭体験を実施する。

7 学校との連携

子ども達が通園・通学する幼稚園・小中学校・高等学校と、子どもの発達課題、現況等について情報を共有し、連携して学力向上や心身の健やかな成長を図った。

日常的な電話、往来による情報交換

子ども達の情報提供及び赴任教員への施設概要説明（4月）

教育相談（各学期）

小学校と子ども達の課題・現況等情報交換（2学期）

進路指導、調整が必要な課題について児童相談所を含めた関係者会議の開催

8 早期家庭復帰に向けての保護者との連携

早期の家庭復帰に向けて、子どもと保護者との家族の絆を深め、また、職員と保護者との連携を深めるため以下の事業を実施した。

毎月の家庭実習（一時帰宅）・年末年始等の長期家庭実習、親子交流・面会等

毎月のお便り、広報誌せいめいの送付

児童相談所、関係機関との連携による家庭支援

9 児童養護施設等の退所者支援

浜松市社会的養護自立支援拠点事業を受託し、市内の児童養護施設・自立援助ホーム等の退所を控えた児童および既に退所した児者に対して就労・学業を継続し、安定した生活が営めるよう支援を実施した。

交流の場の提供（行事の招待・小規模な学習会・自立支援セミナー）

相談支援（生活・就労相談・居住先等への訪問・里親家庭への情報発信）

支援計画の作成（個別的な課題解決のため継続的な支援方針を策定）

一時的な居場所の提供（帰住先を失っている場合の生活場の提供）

10 ボランティアの受入れ

児童養護施設へのボランティアを希望する団体・個人の方々を積極的に受入れ、養育の質の向上、養育環境の整備等を図った。

中央区南支部保護女性会による花植えボランティア

アピアによる理美容ボランティア

浜松医科大生ボランティアサークル四つ葉による中学生への学習指導ボランティア

新津地区の体育振興会・女性部・子ども会による「納涼の夕べ」イベントボランティア

㈱エリジオン社員・悠々塾・ドリーム等による「納涼の夕べ」イベントボランティア

その他団体の訪問・招待

個人ボランティア（養育補助・遊び・施設美化・茶道指導・書道指導・ヘアメイク）

VI 施設運営のための年間事業計画

1 会議・委員会・連絡会

子ども一人ひとりへの養育の質の向上と円滑な施設運営を図るため、また関係機関団体との連絡調整等のために、以下の会議・委員会を開催した。

(1) 施設内部の会議・委員会・連絡会

職員会議、職員連絡会、事業計画実施委員会、課長会議、リーダー会議、各課横断会議、課内会議、献立懇談会議、衛生委員会

ケース報告検討会、リスクマネジメント検討委員会（苦情解決）、防災委員会、感染予防対策委員会
養育環境向上委員会（自己評価）
研究委員会（性教育、公文式学習）

(2) 関係機関団体等との連絡会等

静岡県・浜松市の児童相談所との連絡会（自立支援計画票の作成と見直し等）
新津小中学校連絡会

2 人事・労務管理

(1) 教育訓練・能力開発管理

職員の専門性の向上を図り、より質の高い養育を提供するために以下の内部研修会等を実施し、外部研修会へ参加した。

ア 職員キャリアパス

イ 職員自己評価シート

ウ OJTの実施

エ スーパービジョンの実施

オ 内部研修会の開催

職員研修会（専門性の高い外部講師の招聘・各課横断話し合い）

新採職員採用前研修、新任職員研修会（毎月）、メンター制度（先輩職員担当制）

施設視察研修（本体大規模修繕計画による視察・各種研究員会による視察）

自己啓発援助制度

県立子ども病院医師による研修会

市児相児童心理司によるスキルアップ研修

発達障害児への対応方法を学ぶペアレントトレーニング研修

保健衛生研修（感染症・衛生関係全般）

日本公文教育研究会施設サポート部による公文プリント学習指導スキルアップ研修会

カ 外部研修会への参加（静岡県児童養護施設協議会部会）

施設長研修会、養育担当職員研修会、事務職員研修会、栄養士及び調理職員研修会

心理担当職員研修会、家庭支援専門相談員研修会、里親支援専門相談員研修会

新任職員研修会、浜松市施設職員資質向上研修派遣事業の受託

キ 施設の小規模化（家庭的養育推進）・多機能化に向けての関係研修会への参加

(2) 健康福利管理

職員の健康を維持し福利厚生を充実させるため、以下の費用助成・サービス提供等を実施した。

職員定期健康診断の実施と健診費用の助成、インフルエンザ予防接種費用の助成

福利厚生センターへの加入による各種福利厚生サービスの提供

社会福祉施設従事者相互保険への加入による医療保障

産業医による職場環境の整備、職員メンタルヘルス面接

3 施設(建物・設備)の整備保全、備品購入

中長期計画の大規模修繕との兼ね合いを検討し、安全で快適な施設の生活環境の確保及び維持するため以下の事業を実施した。

快適な生活環境を提供するための各所工事、故障・破損による建物設備の修繕工事
業務委託による建物・設備の保全(特殊建築物定期点検・エレベーター・貯水槽等)
故障・破損等による備品等の買い替え、児童用・業務用等の備品の購入
体育館の安全管理のための検査の実施

4 安全管理・保健衛生・健康管理

災害による危険を防ぎ、事故のない安全な施設生活を保障し、健康で健やかな成長を図るために以下の事業を実施した。

業務委託による安全管理(防災設備点検・害虫駆除・非常通報装置点検等)
職員による毎月の設備等点検(防災設備・遊具・業務用自動車)
地震・津波襲来に備えての毎月の避難訓練、火災に備えての避難訓練・消火訓練
防災連絡網整備
南消防署員参加による総合防災訓練(11月)
防犯・交通教育(中央警察署・外部講師による児童への研修も含め)
不審者侵入防止警報装置、防犯カメラ、食器消毒・調理員保菌検査・水質検査等
嘱託医による内科健診・歯科健診、インフルエンザ予防接種、投薬表による薬品管理

5 施設機能を活かした地域貢献

児童養護施設が保有する専門性を活かした地域貢献を図るため以下の事業を実施した。

浜松市子育て短期利用事業(ショートステイ・トライブステイ)の受託
親子支援事業

地域の未就学児の子育て中の親子を対象に毎月の子育てサロン「すずらん」の拡充
(スイーツ作り、ミニ運動会の開催、いちご狩り遠足、外部講師の講話等の実施)

里親支援専門相談員を配置し里親委託の推進を支援

相談・家庭訪問

里親サロンの実施(親子支援事業すずらんと合同開催も含む)

里親レスポンス事業の受託

養育里親認定施設研修の受入

浜松市児相里親サロン・県西部児相里親ひろばへの出席 浜松市里親会夢風サロンへの出席

浜松市要保護児童対策地域協議会実務者会議への出席(旧東区・南区)

駐車場・体育館の活用希望の受入(小中学校・地域のスポーツ団体・選挙管理委員会)

6 地域の関係機関団体との連携

施設長・職員が地域関係機関団体の役員等に就任し、開かれた施設運営、地域との連携強化を図った。

新津中学校区青少年健全育成会監事

新津地区防犯まちづくり推進協議会啓発部員

新津中学校区防災教育防災連携連絡会会員、新津小中学校PTA監事

浜松中央警察署可美公園前交番連絡協議会委員

浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童処遇部会委員

7 次世代の児童福祉を担う人材の養成

児童養護施設が保有する専門性を活かして、児童福祉を担う人材の積極的養成のために以下の事業を実施した。

福祉職員養成校からの保育士・社会福祉士等の資格取得実習生、自主実習生の積極的受入
専門学校の施設見学の受入れ

学生の施設見学の受入

学生アルバイトの雇用

8 地域小規模児童養護施設の運営

地域小規模児童養護施設あしたば及ふたばの連携を充実した運営を行った。
施設中長期計画に基づく3か所目の地域小規模児童養護施設の開設の準備

9 一時保護グループケアの運営

一時保護グループケアやまももの浜松市児童相談所及び西部児童相談所との連携し、要望に応える運営をした。
社会福祉課（子ども家庭支援センター）と連携し地域や利用者のニーズに応えるショートステイの受け入れをする

10 コストマネジメントの実施

コスト意識をより一層高めて、日用品費・水道光熱費、消耗品費等の経費の削減に努めた。

11 施設のICT(情報通信技術)化の推進

児童支援記録システム「すこやか日誌」の施設内情報共有のあり方を検討した。

令和7年度 子どもの年間行事報告

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	施設訪問・招待
4	子どもへの新規採用職員紹介 家庭実習・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 幼児健康診断(内科・歯科)	入学式(幼小中高) 始業式(幼小中高) 修学旅行(中3年) 家庭訪問(幼・小・中) 親子遠足(幼)		バスケットボール招待(随時) 散髪ボランティア(随時)
5	長期家庭実習・里親委託・親子交流 5月連休外出 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	もりのこ運動会(小) 野外活動(中2年) 体育大会(中)	児童福祉施設奨励絵画展表彰式 浜松まつり 春季子ども会球技大会(ホート)	フラワーパーク植樹招待(松川電気)
6	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 公文学習児遠足	参観会(小)	新津ふれあいフェスタ	浜松北高校文化祭招待
7	七夕 フロア別キャンプ 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	夏祭り(幼) 終業式(幼小中高)		
8	納涼のタベ フロア別キャンプ 長期家庭実習・里親委託 盆休外出 クラブ活動 誕生日外食 防災訓練 公文プリント集中学習	始業式(小中)	児童福祉施設夏季スポーツ交流会 (ホーリング)	浜松ライオンズクラブ夏祭り招待 プロ野球観戦招待
9	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	始業式(幼・高) 運動会(幼) 体育大会(中)	秋季子ども会球技大会(ホート)	

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	施設訪問・招待
10	家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 児童健康診断 防災訓練	遠足(幼) 文化発表会(中) 合唱コンクール(中) 林間学校(小5年)	新津地区秋祭り	浜松志願ロータリークラブ自然体験プロジェクト ホンダマリンフェスタ招待
11	総合防災訓練 公文学習見遠足 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 七五三 インフルエンザ予防接種	修学旅行(小6年) もりのこ発表会(小)	協働センター祭り 児童福祉施設オセロ大会	フラワーパーク植樹招待(松川電気) 大人サンタディズニーランド招待 ブレス浜松バレーボール招待
12	クリスマス会 もちつき 長期家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 サイクリング旅行(男児) 防災訓練 大掃除	3者面談(小・中) 個別面談(幼) 生活発表会(幼) 終業式(幼小中高)	地域防災訓練	トクラス労組訪問 CoCo壱番屋カレー寄贈 チルダイナー料理寄贈 松川電気クリスマスプレゼント・ケーキ寄贈 笹田学園クリスマスプレゼント寄贈 ブレス浜松バレーボール招待
1	長期家庭実習・里親委託・親子交流 正月外出 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	始業式(幼小中高)	児童福祉施設冬季スポーツ交流会 (サッカー)	
2	節分豆まき 個別・少人数外出 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 防災訓練	私立高校入試 年長お別れ遠足(幼)	虚空蔵寺大祭参拝	豆まき訪問 地域小規模花植えボランティア トヨタユニテッド静岡寄贈 ABC寄贈(自立支援) 県社協・共同募金会寄贈(自立支援)
3	ひな祭り 個別・少人数外出 卒園卒業おめでとうの会 家庭実習・里親委託・親子交流 社会実習(買い物・外食・食事作り等) クラブ活動 誕生日外食 フロア別遠足 CAP子どもワークショップ 防災訓練	公立高校入試 卒業式(幼小中高) 修了式(幼小中高) 離任式(小中)		エリジオン寄贈(高校卒業生)

令和7年度 施設運営年間事業報告

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
4	葵会運営会議 課長会議 防災委員会・感染予防対策委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	県西部地区施設連絡会 施設概要説明会(幼、小・中学校) 市施設協児童障害部会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 地域関係団体総会	各種研究委員会(内部) 新任職員研修会(内部)	辞令交付(新採・異動職員) 思いやり委員会説明 すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 広報紙発行 キャリアパス(自己目標管理シート)前期目標
5	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 おもいやり内部委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会理事会	家庭訪問(幼、小・中学校) 新津小学校との連絡会 おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 職員研修(内部)保健衛生 県養協職員研修会 (ハ・アレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア * セカンドステップ(年間通し随時) (児童への実施、職員への研修等) * リーピングケアに関すること(年間通し随時) (児童・職員研修、自立に向けての講座など)
6	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会定時評議員会 葵会評議員選任解任委員会	児童相談所との連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 県養協新任職員研修会 県給食協会衛生講習会 (ハ・アレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 人事評価・自己評価 * 課長のよるフィードバック
7	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会第三者委員会	県養協施設長会議 県養協職員部会議 市施設協児童障害部会	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 県養協職員研修会 関プロ児童養護施設研究協議会(静岡) (ハ・アレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 職員健康診断(宿直業務職員) 人権チェックリスト(第1回目)
8	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 感染予防対策委員会 衛生委員会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会	浜松市と施設長の連絡会	各種研究委員会(内部)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 福祉サービス自己評価 職員調書
9	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 児相によるスキルアップ研修会(内部) 県給食協会衛生講習会 (ハ・アレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 広報紙発行 キャリアパス(自己目標管理シート)前期評価・後期目標

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
10	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会理事会 葵会臨時評議員会	市施設協児童部会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 関プロ児童養護施設職員研修会 県養協職員研修会 県立こども病院Dr研修会(内部) (ペアレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア
11	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会 リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会第三者委員会	県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 県給食協会研修会 児童虐待防止静岡の集い (ペアレントトレーニング) 全国児童養護施設長研究協議会(金沢)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 人事評価 * キャリパス前期評価・後期目標を合わせ課長のよるフィードバック 職員満足度アンケート
12	葵会運営会議 課長会議 感染予防対策委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	児童相談所との連絡会 県西部地区施設連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	新任職員研修会(内部) 各種研究委員会(内部) 職員研修(内部)保健衛生 県養協職員研修会 県養協権利擁護研修会 全社協社会的養護施設長研修会 (ペアレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア
1	葵会運営会議 課長会議 リスクマネジメント検討委員会 おもいやり内部委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	おもいやり委員会 県養協施設長会議 県養協職員部会議	各種研究委員会(内部) 権利擁護研修(内部) CAP職員研修会(内部) 箱庭療法学会研修会 全養協中堅職員研修会 県養協職員研修会 公文児童福祉施設フォーラム (ペアレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア 職員健康診断 人権チェックリスト(第2回目)
2	葵会運営会議 課長会議 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議	新津小学校との連絡会 県養協施設長会議 県養協職員部会議 県養協と養成校との連絡会	各種研究委員会(内部) 県養協職員研修会 県給食協会研修会 全養協FSW研修会 (ペアレントトレーニング)	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア
3	葵会運営会議 課長会議 養育環境向上委員会・リスクマネジメント検討委員会 衛生委員会 ケース報告検討会 課内会議 リーダー会議 職員会議 献立懇談会 各課横断会議 葵会理事会 葵会臨時評議員会 葵会評議員選任解任委員会 葵会第三者委員会	県養協施設長会議 県養協職員部会議 市施設協児童部会	各種研究委員会(内部) 新規採用前職員研修	すずらん 性教育 公文式プリント学習 アフターケア

令和7年度 すみれ寮事業報告

「子ども一人ひとりの今日の幸せ、明日の幸せのために」

すみれ寮は令和7年度に定員26名から20名に変更し、本体、分園型小規模グループケア、地域小規模児童養護施設の3か所で子どもたちが安定した生活環境が維持できるように努めた。

国の新しい社会的養育ビジョンの考え方に沿って、令和7年度から11年度までの5か年の中長期計画のすみれ寮の本体施設の移転計画にあたり土地の確保に努めた。浜名区高畑に土地を探し農地であるため農用地除外申請の手続きを行い、移転計画をすすめている。

令和6年度から高校を卒業し大学等へ進学後措置解除となった児童を対象とする児童自立生活援助事業Ⅱ型の事業を開始し、4年生大学1名と専門学校1名がこの制度を利用し、無事に大学等卒業することができた。

すみれ寮の入所児童の多くは虐待を受けた子どもであり、情緒面や行動面の問題、社会適応の困難さを抱えている。退所者の支援として、社会的養護自立支援拠点事業を開始した。

児童相談所、学校関係機関と連携し子どもたちの支援に努め、施設行事を通じて地域交流を深め、地域の方と触れ合う時間を大切にし、地域の行事にも積極的に参加した。

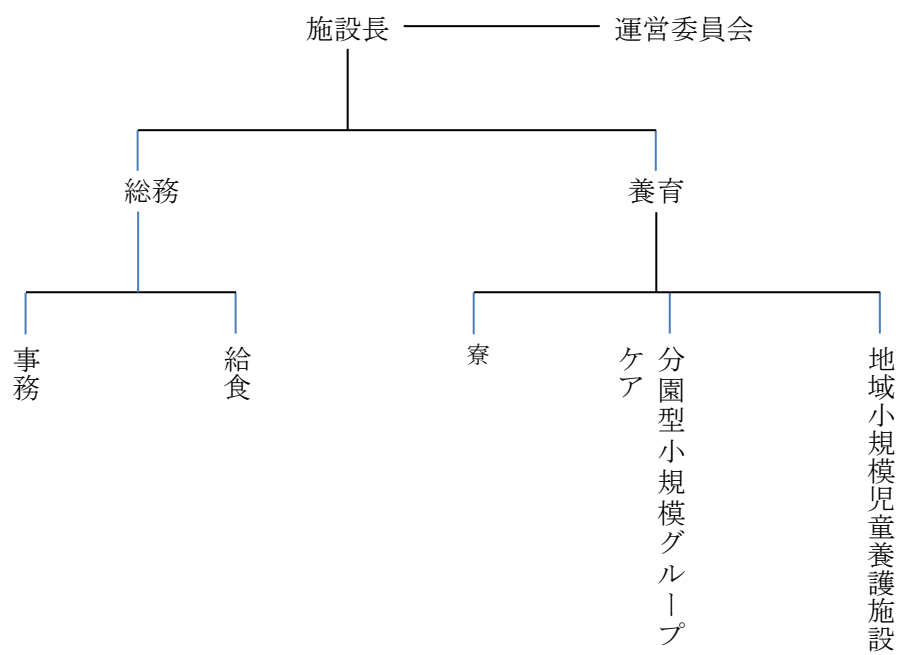
すみれ寮は、社会福祉法人葵会の基本理念のもと、子どもの最善の利益の実現に向け、子どもと大人が共に育つ施設運営をしていく。

I 養育方針

すみれ寮職員は、子ども一人ひとりのために、福祉職としてのプロ意識を持って専門性の向上に努め、深い愛情と職員相互のチームワークにより、以下の養育方針（目標）達成のために精励努力した。

- 1 子どもの権利を擁護し、子どもの意見表明権を尊重し、自分で考え判断決定する自主性・自律性を育んだ。
- 2 小舎制による家庭的な養育環境の中で、安心してのびのびした生活環境を提供した。
- 3 一人ひとりとの関わりを大切にし、心の痛みへの受容共感を通して、情緒の安定や大人への信頼関係を育んだ。
- 4 豊かな自然環境のもと、地域の皆様との交流を通じて豊かな人間性を育て、健康で生き生きとした生活を送る基礎を培った。
- 5 より家庭的な養育をすすめ、地域の一員としての豊かな生活体験を営んだ。
- 6 安全な生活を保障するため、健康管理に注意し、事故や災害の防止に努めた。
- 7 地域行事や関係団体行事に積極的に参加し、地域社会の中での育みを大切にした。
- 8 一人ひとりの発達段階やニーズに応じた家庭学習をサポートし、学習意欲を育て、学力向上を図った。
- 9 保護者の皆様の状況を理解すると共に、関係機関と協力して家族再統合・里親委託に向けて支援した。
- 10 施設退所後の生活に向けて、多くの体験を通して社会性を育み、自立を支援し、併せて退所後の相談に応じた。

Ⅱ 養育体制



Ⅲ 子ども一人ひとりのための年間事業報告

1 自立支援計画の作成と見直し

子ども一人ひとりの自立支援計画票を子どもや保護者の意向、学校生活の様子を児童相談所と調整しながら作成し児童相談所との連絡会の場で半年毎に見直しを図った。

2 子どもたちの健やかな養育のための年間行事報告

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるために有効な施設行事を年間通して実施し、また地域や関係機関団体等の行事に参加し、企業団体などからの訪問招待を受け入れた。

※別紙「子どもの年間行事報告」参照

3 養育の質の向上と自立支援

子ども一人ひとりに対する養育の質の向上と自立を支援するため以下の事業を実施した。

自己評価、外部専門家からのスーパーバイズによるケース報告検討会、心理療法担当職員による心理的ケア、小規模グループケア1か所（ユニット）、地域小規模児童養護施設1か所（パル）、家庭支援専門相談員による家庭調整、退所児童へのアフターケア、リービングケア（中高校生への自立支援）、栄養士等による食育（野菜作り含む）、動物の飼育、子ども会議の開催、中高生の通塾等

4 子どもたちが安心して生活するための権利擁護

子ども一人ひとりの権利を尊重し、安心して生活できる環境を提供するため、懲戒に係わる権限の濫用禁止及び被措置児童等虐待防止に向けて以下の事業を実施した。
養育環境向上（苦情解決）第三者委員会 苦情受付箱の設置 子ども会議（小・中高） 被措置児童等虐待防止の研修会 CAP 子どもワーク（子どもの人権意識を高め暴力から自分を守る教育プログラム） 虐待行為聞き取り調査票 業務内容自己点検表

5 児童相談所との連携

措置機関である児童相談所と、子ども一人ひとりの家庭状況、発達課題の情報を共有し、連携して自立支援にあたった。

児童相談所の児童福祉司・児童心理司・医師による発達課題や心理状態に応じた面接の実施、児童相談所との連携による早期家庭復帰（家族再統合）の推進、児童相談所児童心理司によるスキルアップ研修とペアレントトレーニング研修
里親委託推進・ショートルフラン利用での里親との交流など

6 学校との連携

学校との連携は極めて重要であり、心身の発達・学習の習得状況・友人関係等日常的に情報交換を行い子どもへの理解を図った。施設のケース報告検討会に小中学校の先生方を招き情報共有の場とした。

新規入所児童については、事前に学校と綿密な連絡を取り受け入れ態勢を整えた。進路や問題と思われる行動については、児童相談所を含めた合同関係者会議を実施し適切な手立てを検討し学校・施設で一貫した対応を進めた。

嘱託医をはじめとする医療機関（主に児童精神）との受診や関係者会議を通して、子どもの心身への適切な対応を進めた。

7 家族再統合に向けての保護者との連携

子どもと保護者の関係改善のため、職員と保護者の連携を深めるため以下の事業を実施した。

毎月の家庭実習(一時帰宅)・面会・外出・保護者へのお便り（成長状況を伝える）
児童相談所・民生委員等の関係機関との連携による家庭支援、家庭支援専門相談員による家庭支援（電話連絡・家庭訪問等）の実施

8 退所児童の支援

退所児童の所在確認、健康状態、就業状況等支援の必要性確認のため定期不定期にアフターケアを実施した。

児童自立生活援助事業によるアフターケアを実施した。

9 ボランティアの受入れ

児童養護施設へのボランティアを希望する団体・個人の方々を積極的に受け入れ、養育の質の向上、養育環境の整備等を図った。

地域美容院による散髪 地域個人による学習ボランティア その他地域団体・個人ボランティア（理容 野菜作り・花壇の花植え等）の積極的受け入れ

IV 施設運営のための年間事業報告

1 会議・委員会・連絡会

子ども一人ひとりへの養育の質の向上と円滑な施設運営を図るため、また関係機関団体との連絡調整等のために、以下の会議・委員会を開催した。

(1) 施設内部の会議・委員会・連絡会

職員会議、職員連絡会、定例会議、グループ会議、ケース報告検討会議（外部講師のスーパービジョン）若年職員会議、献立懇談会議、給食会議
リスクマネジメント検討委員会、防災委員会、保健委員会、社会的養育推進のための検討委員会、養護環境向上委員会（苦情解決、自己評価）

(2) 関係機関団体等との連絡会

静岡県・浜松市の児童相談所との連絡会（自立支援計画票の作成と見直し等）
気田小学校との連絡会、春野中学校との連絡会
すみれ寮運営委員会 春野地区社会福祉協議会との合同行事
「まほろば文庫」運営委員会

2 人事・労務管理

(1) 教育訓練・能力開発管理

職員の専門性の向上を図り、より質の高い養育を提供するために内部研修会等を実施し外部研修会へ参加した。

ア OJTの実施

イ スーパービジョンの実施

ウ 内部研修会等の開催

職員研修計画に沿った内部研修会、新任職員研修会、新採職員採用前研修 施設視察研修、発達障害児への対応方法を学ぶペアレントトレーニング研修、CAP 職員ワーク、児童相談所児童心理士によるスキルアップ研修

エ 外部研修会への参加

施設長研修会、養育担当職員研修会、家庭支援専門相談員研修会、事務職員研修会、心理担当職員部会、栄養士・調理職員研修会 新任職員研修

(2) 人材確保

安定的な職員の人材確保を進めるため以下の事業を実施した。

ハローワーク、静岡県社会福祉人材センターの就職相談会への出席、大学のキャリアセンターなどの求人依頼など

(3) 健康福利管理

職員の健康を維持し福利厚生を充実させるため、以下の費用助成・サービス提供等を実施した。

職員定期健康診断の実施と健診費用の助成

インフルエンザ予防接種費用の助成

福利厚生センターへの加入による各種福利厚生サービスの提供

社会福祉施設従事者相互保険への加入による医療保障

3 安全管理・保健衛生・健康管理

事故や災害の無い安全な施設生活を保障し、健康で健やかな成長を図るために、以下の事業を実施した。

業務委託による安全管理(防災設備点検・非常通報装置等)、毎月の防災設備点検及び備蓄食料品の点検、総合防災訓練、非常時避難訓練・消火訓練、救急救命講習、防犯教育、交通道德教育、嘱託医による内科健診、看護師による保健指導、インフルエンザ等予防接種、投薬表による薬品管理、職員保菌検査

4 施設(建物・設備)の整備保全、備品購入

安全で快適な施設の生活環境の確保及び維持するため以下の事業を実施した。

快適な生活環境を提供するための各所工事、故障・破損による建物設備の修繕工事、業務委託による建物・設備の保全(特殊建築物定期点検)

児童用・業務用等の備品(固定資産含む)の購入

5 施設機能を活かした地域貢献

児童養護施設が保有する専門性を活かした地域貢献を図るため以下の事業を実施した。

「浜松市保育ママ事業」への登録と実施、「浜松市子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)」の受託、養育里親認定施設研修の積極的受け入れ

浜松市要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議への出席

「まほろば文庫」の運営

6 次世代の児童福祉を担う人材の養成

児童養護施設が保有する専門性を活かして、児童福祉を担う人材の養成のために以下の事業を実施した。

福祉職員養成校からの保育士・社会福祉士等の資格取得実習生の積極的受け入れ

福祉職員養成校からの依頼による講師の派遣

学生アルバイトの雇用 学生の施設見学の受け入れ

7 第三者評価受審結果の施設運営に関わる低評価項目改善の推進

低評価項目の内容を分析し課題整理と対応について検討した。
各種マニュアルの作成、見直し等を実施した。

8 社会的養育推進計画

子どもの最善の利益の実現のために職員全員参加で、地域分散化、小規模化に取り組んだ。
推進計画の実現に向かって職員全員参加で取り組みを始めた。

9 地域小規模児童養護施設の運営

地域小規模児童養護施設パル（定員6名）を天竜区二俣地域で安定的に運営した。

10 養育支援マニュアルの検証と見直しの実施

養育の標準化を進めるため、定期的に全職員参加のもと実施した。
その際、子どもの意見や提案を反映させた。

令和7年度 子どもの年間行事報告

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	訪問招待
4	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	入学式(中高) 始業式(幼小中高) PTA総会(幼小中高) 参観会(幼小中)		
5	長期家庭実習・里親委託 誕生日外食 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 防犯教室 避難訓練	資源回収(小中) 親子遠足(幼)	児童福祉施設奨励絵画展表彰式	
6	家庭実習・里親委託 誕生日外食 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	プール開き(幼小) 参観会(幼・小・中) 林間学校(小)	ホテル祭り	
7	家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 CAP子どもワーク 防犯教室 交通安全教室 子どもの聞き取り調査 避難訓練	参観会(中) 水泳記録会(小) 中体連 終業式(幼小中高) 教育相談(幼小) 三者面談(中)	ふるさと少年少女教室 ラジオ体操	
8	長期家庭実習・里親委託 盆休外出行事(川遊び・映画・外食等) 日帰り旅行 体験活動 誕生日外食 子ども会議 子どもの聞き取り調査 性教育 避難訓練(夜間)	始業式(中)	児童福祉施設夏季スポーツ交流会 ふるさと少年少女教室 気田花火大会 七夕まつり ラジオ体操	
9	家庭実習・里親委託・親子交流 誕生日外食 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	始業式(幼小高) 学力調査(中) 運動会(幼小中) 体カテスト(小)	ふるさと少年少女教室	ボクシング招待

月	施設内行事	主な学校関係行事	地域・関係機関団体行事	訪問招待
10	家庭実習・里親委託 誕生日外食 インフルエンザ予防接種 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	天竜区陸上大会(小) 体力テスト(中) 親子奉仕作業(中)	気田地区祭典 ふるさと少年少女教室	
11	感謝のつどい 家庭実習・里親委託 誕生日外食 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 総合防災訓練	蒼天祭(中) 音楽発表会(小中) 参観会(小) 資源回収(小中) 修学旅行(高) ドレミステージ(幼) 学習発表会(小)	児童福祉施設オセロ大会 ふるさと少年少女教室 はるの産業祭	
12	長期家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 児童健康診断 クラブ活動 大掃除 交流もちつき会 クリスマス会 子どもの聞き取り調査 交通安全教室 避難訓練	持久走大会(幼小中高) 終業式(小中高) 三者面談(中) 教育相談(幼)	地域防災訓練	
1	長期家庭実習・里親委託 正月外出行事(初詣・映画・外食等) 誕生日外食 子ども会議 クラブ活動 子どもの聞き取り調査 避難訓練	始業式(幼小中高)	児童福祉施設冬季球技大会(サッカー) 天狗の里駅伝大会	ラグビー招待
2	節分豆まき 家庭実習・里親委託 誕生日外食 クラブ活動 性教育 子どもの聞き取り調査 避難訓練		春野町文化展	トヨタユニテッド静岡寄贈 ABC寄贈 県社協・共同募金会寄贈
3	ひな祭り 卒業をお祝いする会 家庭実習・里親委託 誕生日外食 子ども会議 体験活動・クラブ活動 子どもの聞き取り調査 交通安全教室 避難訓練	卒業式(幼高) 離任式(幼小中高) 修了式(幼小中高)	子ども会6年生を送る会	エリジオン寄贈(高校卒業生)

令和7年度 施設運営年間事業報告

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
4	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 給食会議 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議	気田小学校との連絡会 県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	新任職員研修会(内部) 救命講習	辞令交付 アフターケア
5	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議 社会的養育推進の為の検討委員会 葵会理事会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	職員研修(内部)	自己評価 アフターケア
6	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 すみれ寮運営委員会 葵会定時評議員会 葵会評議員選任解任委員会	自立支援計画検討会 春野中学校との連絡会 県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	県養協新任職員研修会 関ブロ児童養護施設研究協議会 養護問題研究会 衛生講習会 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	人事評価 アフターケア 家庭訪問 人権チェックリスト 自己評価 まほろば運営委員会
7	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会 葵会第三者委員会	第三者委員会 家庭訪問(高等学校) 県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	関ブロ運営委員合同研修 CAP職員ワーク 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	アフターケア 家庭訪問
8	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議	要保護児童対策地域協議会	感染症講座	職員健康診断 アフターケア
9	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	県養協施設長会議 要保護児童対策地域協議会	県養協各部会 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	アフターケア 家庭訪問

月	内部会議・委員会	関係機関等との会議	研修(内部・外部)	その他
10	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 すみれ寮運営委員会 防災・保健委員会 グループ会議 若葉会議 葵会理事会・臨時評議員会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	関ブロ児童養護施設職員研修会 県給食協会研修会 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	アフターケア
11	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 社会的養育推進の為の検討委員会 葵会第三者委員会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	職員研修会(内部) 児童虐待静岡の集い 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	感謝の集い(創立記念) アフターケア
12	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会	県養協施設長会議 県養協各部会 自立支援計画検討会 要保護児童対策地域協議会	県養協権利擁護研修会 生性協秋季セミナー 職員研修(内部) 児相によるスキルアップ研修(内部) ペアレントトレーニング	人事評価 人権チェックリスト まほろば運営委員会 アフターケア
1	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議・個別検討会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	全養協中堅職員研修会 県養協権利擁護研修会 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	職員健康診断 家庭訪問 アフターケア
2	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	県養協合同研修会 全養協FSW研修会 職員研修(内部) ペアレントトレーニング	アフターケア
3	葵会運営会議 給食会議 職員会議 献立懇談会 ケース報告検討会・個別検討会議 グループ会議 若葉会議 防災・保健委員会 社会的養育推進の為の検討委員会 葵会理事会・臨時評議員会 葵会第三者委員会	県養協施設長会議 県養協各部会 要保護児童対策地域協議会	職員研修(内部) ペアレントトレーニング	アフターケア